



Association for Corporate Support of the Arts
社団法人 企業メセナ協議会

メセナ

MECENAT AWARDS 2004

アワード



メセナ アワード 2004

企業メセナ協議会では、
1991年に「メセナ大賞」を創設し、
企業や企業財団による
優れた芸術文化支援（メセナ）活動を
顕彰してまいりました。
14回目を迎える本年より
2つの部門からなる
「メセナ アワード」と改定し、
芸術文化振興に高く貢献した活動を
「メセナ大賞部門」にて、
また、社員や家族の文化力を高める活動を
「文化庁長官賞部門」にて選考いたしました。

メセナアワード2004 トロフィー

受賞企業には、表彰状とトロフィーを贈呈します。



【メセナ大賞部門】

光のトロフィー

LEDが発光しながら回転すると、
光の残像現象により立体的な形が浮かびあがる。

ステンレス、LED、アクリル、
ポリエステル樹脂、モーター ほか
35×φ12.5cm

トロフィー制作

篠田 太郎 (しのだ・たろう)

1964年、東京生まれ。造園家、グラフィックデザイナーを経て1995年より美術作家として活動。
科学や哲学のアイデアを独自の解釈でアートに展開している。

制作コンセプト ●50年前、電子の構造が明らかになったとき、世間は「なんの役にたつのか?」と問いました。応用科学と違って基礎科学はロングタームで物事を考えるので、すぐに実用に役立つものではない。しかし後世の人類にとって莫大な価値を生む——これは宇宙科学研究所の的川博士の話ですが、文化にもあてはまる考え方のような気がします。企業のメセナ活動は、遠い将来に必ず利益をもたらすことにつながると信じます。今回のトロフィーは、時空間の基準となる〈光〉をテーマにしました。これはメセナが、文化の基礎を発展させる光となることを願うものです。

「メセナ大賞部門」トロフィーの制作者は、東京オペラシティアートギャラリーの堀元彰氏にご協力いただき、指名コンペティションを実施して選びました。

ごあいさつ

企業メセナ協議会の顕彰事業として1991年に創設された「メセナ大賞」は、14回目を迎える本年より、文化庁との連携のもと「メセナ アワード」と改定いたしました。

従来どおり、芸術文化の振興に高く貢献したメセナ活動を「メセナ大賞部門」にて8件、社員やその家族の文化力を高める活動を「文化庁長官賞部門」にて1件、選ばせていただきました。受賞される企業ならびに企業財団の皆さま、誠におめでとうございます。また全国より、ご応募ならびにご推薦を賜りました方々に、厚くお礼申し上げます。

「メセナ大賞」ではこれまでの13年間に、合計100件を超える活動を表彰してまいりましたが、今回も多彩な活動をご応募いただきました。芸術家の育成や創造活動への支援、芸術の享受者への働きかけ、地域文化醸成のための取り組みなど、ますます企業メセナが充実してきたことを実感いたしております。

さらに、昨年創設された「文化庁長官賞」については、前回はメセナ大賞に応募された案件から選ばせていただきましたが、今回は本賞の趣旨に該当する活動を別途に公募いたしました。企業による「社員やその家族に対し、芸術文化活動への参加や観賞の機会を提供し、支援する取り組み」について、こちらも多くのご応募をいただいております。

両部門に寄せられた活動のいずれもが、独自のアイディアと熱意に支えられたものばかりで、昨今の厳しい経済情勢のもと活動を推進しておられる各社のご努力に心より敬意を表したいと思います。そして、多くの応募案件のなかから数少ない受賞活動を選ぶ労をいとわず、真摯な議論を尽くしていただきました審査委員の皆さまにも、心よりお礼を申し上げます。

今後も、企業メセナの地平を広げるべく活動を展開してまいりますので、皆さまのいっそうのご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

社団法人企業メセナ協議会
会長・理事長 福原義春

審査委員

池上 惇(いけがみ・じゅん)

京都橘女子大学文化政策学研究所長、同文化政策学部長、京都大学名誉教授。経済学博士。文化経済学会元会長、日本財政学会顧問。研究領域・固有価値と創造都市。主著に『文化経済学のすすめ』、『生活の芸術化―ラスキン・モリスと現代』、『情報社会の文化経済学』、『現代のまちづくり(共著)』(91~2000年、丸善)、『財政思想史』(99年、有斐閣)、『文化と固有価値の経済学』(2003年、岩波書店)。

柏木 博(かしわぎ・ひろし)

デザイン評論家、武蔵野美術大学教授。思想理論を基盤として、インダストリアル・デザインから都市・テクノロジー批評などを幅広く論じる。大学では近代デザイン史を指導。著書に、『デザインの20世紀』(92年)、『ユートピアの夢』(93年)、『家事の政治学』(95年)、『芸術の複製技術時代』(96年)、『モダンデザイン批判』(2002年)ほか。

南條史生(なんじょう・ふみお)

森美術館副館長。国際交流基金、ICA ナゴヤ ディレクター、ナンジウアンドアソシエイツを経て現職。『ベニスビエンナーレ』日本館(97年)、『台北ビエンナーレ』(98年)、『横浜トリエンナーレ2001』をはじめ国内外で数多くの展覧会を手がける。自治体や企業による公募展、アーティスト・イン・レジデンスなどの審査委員も歴任。国際美術評論家連盟(AICA)副会長、国際美術館会議(CIMAM)評議員。

松岡和子(まつおか・かずこ)

演劇評論家、翻訳家。日本シェイクスピア協会会員、国際演劇評論家協会会員。95年、第2回湯浅芳子賞(海外戯曲翻訳部門)受賞。著書は、『すべての季節のシェイクスピア』(93年)、『快読シェイクスピア』(99年)、『シェイクスピア「もの」語り』(04年)など。現在シェイクスピアの戯曲全作品を翻訳・刊行中。既刊は『ハムレット』など13本。

森まゆみ(もり・まゆみ)

作家、谷根千工房主宰。出版社で企画・編集に従事した後、フリーに。84年に地域雑誌『谷中・根津・千駄木』(通称「谷根千」)を創刊。愛読者を集める。『鴉外坂』で97年度芸術選奨文部大臣新人賞受賞。92年、サントリー地域文化賞。99年、日本建築学会文化賞受賞。ほかに『一葉の四季』(01年)、『東京遺産』(03年)、『彰義隊追憶』(04年)など。

渡辺 裕(わたなべ・ひろし)

東京大学大学院教授、美学芸術学を教える。玉川大学助教授、大阪大学助教授を経て96年より現職。著書『聴衆の誕生』(89年)にてサントリー学芸賞、『日本文化モダン・ラブソディ』(02年)にて文部科学大臣新人賞受賞。ほかに『文化史のなかのマーラー』(90年)、『音楽機械劇場』(97年)、『宝塚歌劇の変容と日本近代』(99年)など。

福原義春(ふくはら・よしはる)

(株)資生堂名誉会長。(社)企業メセナ協議会会長・理事長。企業の社会貢献、文化へのパトロネージュに関心が高く、現職のほかに東京都写真美術館館長も務める。フランスよりレジオン・ドヌール(グラン・トフィシエ章)受章。主な著書に『企業は文化のパトロンとなり得るか』(90年)、『文化資本の経営』(99年)、『メセナの動き メセナの心』(2000年)。

(敬称略 | 50音順)

※文化庁長官賞の選考には、文化庁担当者が審査会に加わりました。

選考経過

本年は、本顕彰事業を「メセナ大賞」と「文化庁長官賞」の2部門からなる「メセナ アワード」と改定し、4月上旬より5月末にわたって案件を募集しました。両部門とも、自薦・他薦による応募方式を採用しましたが、「メセナ大賞部門」には、14件の推薦を含む計120件(107団体)、「文化庁長官賞部門」には、5件の推薦を含む46件(41社)のご応募をお寄せいただきました。これらの案件について、協議会会員からなる大賞部会で約4カ月 にわたる調査・取材をおこない、9月の審査会にはからせていただきました。

「メセナ大賞部門」には、例年にも増して多彩な案件が寄せられました。芸術分野でみると「音楽」と「美術」の活動が大変に多く、全体の約8割を占めましたが、その内容はそれぞれ創意工夫に満ちております。応募案件を目的や方法、特徴といった視点から見ると、**1**地域に根ざした活動、**2**企業リソースの活用、**3**芸術家やアマチュアを対象とした顕彰、**4**助成・スポンサーシップ、**5**子どもを対象とした活動、**6**福祉の領域と関わる活動、**7**人材育成、**8**文化施設の運営などに分類されました。なかでも、地域に根ざした活動が近年ますます充実してきており、企業が立地する地域のための活動と、全国各地において展開される活動に大別されることがわかりました。

審査会では、こうしたカテゴリーのなかで傑出した個性が光る案件と、総合的な評価の高い案件を勘案しつつ選考が進められました。その結果、このたびメセナ大賞を受賞された大日本インキ化学工業(株)の川村記念美術館については、美術館活動としての成熟度とともに、同館が地域の文化的イメージの向上に果たした役割も高く評価されました。

また本年から公募となった「文化庁長官賞部門」は、審査において、社員やその家族への影響力、地域での認知度の高さ、活動の独自性・発展性とともに、企業文化の蓄積という点も重視されました。このたび受賞された(株)フェリシモの「神戸学校」については、社員の積極的な参画やその関連としてのユニークな長期休暇制度などの取り組みが高い評価を受けました。

なお、今回受賞にはいたらなかった案件のなかにも優れた活動が数多くあり、さらに活動の充実に努められますことを心より期待しております。

社団法人企業メセナ協議会
大賞部会

メセナアワード2004 受賞企業・活動の紹介

紹介ページ

メセナ大賞部門

メセナ大賞	大日本インキ化学工業株式会社	p06
	川村記念美術館の運営	

現代総合芸術賞	アサヒビール株式会社	p08
	NPOとの協働による「アサヒ・アート・フェスティバル」	

企業理念賞	株式会社希望社	p10
	本社ギャラリーの展示・コンサートなど	

運営創造賞	財団法人新日鐵文化財団	p12
	紀尾井ホールの運営と公演活動など	

生活文化賞	株式会社鈴廣蒲鉾本店	p14
	「小さな美術館 かまぼこ板絵国際コンクール」の実施	

音楽人材育成賞	住友商事株式会社	p16
	ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラの活動支援	

映像開拓賞	日本ビクター株式会社	p18
	「東京ビデオフェスティバル」の継続開催	

児童文化賞	松下電器産業株式会社	p20
	「子供のためのシェイクスピアシリーズ」公演の支援	

文化庁長官賞部門

文化庁長官賞	株式会社フェリシモ	p22
	「神戸学校」の開催など	

メセナ大賞



大日本インキ化学工業株式会社

川村記念美術館の運営

川村記念美術館は、大日本インキ化学工業が関連グループ会社とともに収集した美術品を公開するための施設として、1990年に開設された。千葉県佐倉市郊外に同社の総合研究所を設けるに伴い構想されたもので、研究所とあわせて約30ヘクタールもの敷地は、四季折々の自然が楽しめる環境に恵まれている。

所蔵作品は20世紀美術を中心としながら、17世紀レンブラントの肖像画から、モネ、ルノワールなどの印象派、ピカソやシャガールなど西欧近代絵画、カンディンスキーら初期抽象絵画、ポロック、ニューマンといった戦後アメリカ美術にいたるまで総数1,000点を超える。これら作品は、創業者の川村喜十郎氏から二代目社長の川村勝巳氏、三代目の川村茂邦氏にわたって収集されたものであり、なかでもマーク・ロスコの7枚の大作からなる《ロスコ・ルーム》や、フランク・ステラの18点のコレクションが特色を成している。

開館以来、所蔵の代表作50～80点による常設展とともに、年3～4

回の特別展・企画展を開催。「レンブラント、彼と師と弟子たち」展、「モネ 睡蓮の世界」展など、人気の高い美術家の展覧会をおこなうとともに、「ゲルハルト・リヒター ATLAS」展のような現代美術の巨匠の作品を日本で初紹介し、幅広い層のファンを集めている。これまで平均して年間10万人ほどの来館者を迎え、2004年11月末には通算150万人に達した。

教育普及活動にも力を入れており、毎日おこなわれる無料のガイドツアーは、90年夏のスタート以来一日も欠かすことなく続けられている。また、小中学生向けの美術鑑賞プログラムにも取り組み、地元の学校には送迎バスも提供するなど月に3、4校の利用を受け入れている。

多彩なコレクションと独自の展覧会、教育普及活動への取り組みなど、その真摯な美術館活動が高く評価され、今回の受賞となった。



評価ポイント 公立美術館と比しても遜色のない安定した活動を着実に展開してきている。同館の存在が、「文化のまち・佐倉」のイメージづくりにも寄与している。

企業プロフィール(2004年3月現在)

本社所在地 東京都中央区

業種 化学

設立年 1937年

資本金 824億円

従業員数 4,636人

URL www.dic.co.jp/museum/

現代総合芸術賞



アサヒビール音楽キャラバン in 岡山「表音記号 陶音記号」

アサヒビール株式会社

NPOとの協働による「アサヒ・アート・フェスティバル」

「アサヒ・アート・フェスティバル」は、北海道から沖縄まで全国のアートNPOや市民グループがゆるやかにつながりあい、ジャンルを越えたさまざまなプロジェクトをおこなうアートの祭典である。「市民の主体的な参加によるアート・フェスティバル」とのコンセプトのもと、アサヒビールが約20のNPOや市民グループと協働して2002年にスタートさせた。夏の約1カ月を集中期間として、全国各地で30以上の個性あふれる多彩なアートプロジェクトが展開されている。

アサヒビール本社のある東京では、隅田川を運行する水上バス定期便でダンスパフォーマンスと出会う「水上アートバス」や、元・米屋を改装しアートとフードを楽しむカフェにした「RICE+」、まちのコミュニケーションツールである縁台をつくる「縁台ツアー」などが登場。他の地域でも、酒蔵や元・料亭、住宅や商店街など、既存のアートのスペースではない場が舞台となり、それぞれの地域に密着した試みがおこなわれている。創造のプロセスに市民が参加するコミュニケーション

重視のプロジェクトやワークショップも多い。さらに、6つのNPOとの連携により開催された「全国アサヒビールロビーコンサート」では、各地の同社社員も企画段階から関わった。

運営体制は、アートNPO・市民グループを主体とした実行委員会を組織、これにアサヒビールが加わる。団体の大小や地理的な距離を越えたネットワークが形成されており、全員で運営方針や企画内容を議論しながら進めている。こうした運営方法をとることで、それまで個々に完結していた情報やノウハウが共有され、若手アーティストやアートマネージャーが交流する場にもなっている。

「未来・市民・地域」をメセナの方針に掲げる同社が市民との協働により進める取り組みとして、さらなる発展を期待したい。

緑台ツアー2003「緑台的环境演出講座」



評価ポイント 各地のNPOの主体性に任せて、それぞれの場でやることの意義を見出している。多彩なジャンルを対象に新たな取り組みを展開しており、将来への展望を感じる。

企業プロフィール(2003年12月末現在)

本店所在地 東京都中央区

業種 食品

設立年 1949年

資本金 1,824億3,100万円

従業員数 3,779人

URL www.asahibeer.co.jp/culture/

企業理念賞



株式会社希望社

本社ギャラリーの展示・コンサートなど

設計・施工から保繕までを一貫しておこなう新しい建設業に取り組む希望社は、1994年、岐阜市に新社屋を竣工した。同社では社員の労働時間を定めず、自主性と創造性を重んじた、自由な気風みなぎる感性豊かな会社づくりを目指している。

希望社の文化活動は、同社「道楽苦グループ」の社員が担当する。「道楽苦」社員は、建築に関する業務とは関係なく、自分の思いのままにものづくりをしており、歴代、陶芸家や写真家らが務めてきた。現在の道楽苦社員は、本社1階にあるギャラリーでの展覧会やコンサート等のイベントを企画・実施するほか、別棟平屋建ての「きぼう工房」で陶芸教室を担当している。

ギャラリーは、正面玄関から続く枕木を使用した黒床と、コンクリート打放しの壁となっている。これまでに年6回ほど、計70回以上の絵画・彫刻・写真・工芸等の展覧会を開催、ときには中庭でも作品を展示してきた。岐阜市近郊で活動するアーティストを紹介したり、一般の人たち

の利用希望にも応じてスペースを提供している。

また、ギャラリーにはグランドピアノが置かれており、随時さまざまな催しがおこなわれている。2003年は、同社創立15周年を記念してのコンサートを7回開催、ジャズからアイリッシュまで幅広いプログラムを提供して好評を博した。他にも、ダンスや朗読会などの企画を無料で開催し、近隣の人々を集めている。

同社の桑原耕司社長は、「建築とは生活のロケーションづくりであり、そこで人が動く空間を演出すること」という。社屋も、社員が仕事をするための建物というだけでなく、誰もが気楽に立ち寄り、新たな出会いが生まれる場でありたいと開放的な空間を目指している。ユニークな企業スピリットに裏付けられたのびやかな活動が、多くの人々を惹きつけ、地域の拠点として育っていくことを期待したい。

15周年記念コンサートシリーズより



評価ポイント 企業の姿勢と文化活動への取り組みが根本的に結びついている。近隣住人が気軽に社屋へ足を運ぶという状況が新鮮に感じる。

企業プロフィール(2004年3月末現在)

本社所在地 岐阜県岐阜市

業種 建設

設立年 1988年

資本金 1億4,420万円

従業員数 109人

URL www.kibousha.co.jp/

運営創造賞



紀尾井ホール

財団法人新日鐵文化財団

紀尾井ホールの運営と公演活動など

東京・紀尾井町に建つ「紀尾井ホール」（800席・洋楽／250席・邦楽）は、新日本製鐵（株）の創立20周年記念事業として「新日鉄音楽賞」（90年～）の創設とともに構想され、1995年4月にオープンした。ホールにはあえて企業名を冠さず、武家屋敷として由緒ある地名を活かしている。

開館に先立つ94年、同社およびグループ会社等の出捐により新日鐵文化財団を設立、「発掘・創造・育成・交流」を基本テーマに、財団スタッフ自らが公演をプロデュースしている。外部の専門家からなる運営委員会で企画案を検討してもらい、年間に洋楽約30本、邦楽約20本の公演と公開レッスンを開催。98年に設立した「友の会」の会員は現在1,200人、ホールに愛着をもつファンを多く擁している。

洋楽部門では95年に、レジデントオーケストラ「紀尾井シンフォニエッタ東京」を創設。指揮者の尾高忠明をアドバイザーに迎え、実力あるベテラン・中堅を核に、若手演奏家を育ててきた。同オーケストラ

は2002年、さらなる発展を求めてNPO法人として独立、多彩な客演指揮者とゲスト、幅広い選曲で、室内オーケストラの魅力を伝えている。

また、大阪のいずみホール、名古屋のしらかわホールと提携した「3ホール作曲共同委嘱」シリーズを2000年から実施。当初3年間に、毎年2曲の新作を世に送り出した。各地のホールで異なる団体が演奏をすることで、より多角的に評価される機会を創り出した。

邦楽の分野では古典から新作までの演奏会はもとより、「実技入門」で教員や邦楽に興味を持つ人々が和楽器に触れる機会を提供。また「ゆう志の会」として、若手邦楽家が活躍する場をつくり、邦楽の普及・発展をねらった取り組みをおこなっている。

両分野における充実した活動が音楽界発展の一翼を担ってきた功績は大きく、より創造的なホール運営が期待される。

紀尾井シンフォニエッタ東京



評価ポイント 洋楽・邦楽の両部門で音楽家を育成するとともに、聴衆の拡大も図っている。多彩な事業展開により、ホールに多くのファンが定着している。

団体プロフィール(2004年3月現在)

財団所在地 東京都千代田区〔同左〕

業種 財団〔鉄鋼業〕

設立年 1994年

〔1950年—新日本製鐵(株)の発足は1970年〕

※〔 〕内は新日本製鐵(株)のデータ

基本財産 19億9,100万円〔資本金:4,195億円〕

職員数 14人〔15,000人〕

URL www.kioi-hall.or.jp/〔www.nsc.co.jp/〕

生活文化賞



「金のすず賞」中村祐希子



招待作家・さかなクン



招待作家・加納光於



「金鈴賞」角田敦子



「銀のすず賞」鯉田俊昭

第11回 入賞作品・招待作家作品

株式会社鈴廣蒲鉾本店

「小さな美術展 かまぼこ板絵国際コンクール」の実施

神奈川県小田原市に本拠を置く鈴廣かまぼこは、1982年、創業120周年の記念イベントとして、かまぼこ板に絵を描くコンクールを実施。かまぼこ板のリサイクルに着想し、優れた作品の表彰と全応募作品の展示会をおこなった。これが好評で、その後も隔年で開催するようになり、2003年で11回目を数えるにいたった。

作品に使用できるかまぼこ板は2枚まで。ただし他のメーカーのかまぼこ板でもよく、画材や技法も問わない。絵を描くだけでなく、物を貼り付けたり立体的な彫刻が施されたりと、毎回、ユニークなアイデアに富む作品が集まる。年齢制限もなく、応募者は0歳から100歳までと幅広い。10回展からは海外の出荷先などにも参加を呼びかけており、第11回の応募作品総数は1万点を超えた。

寄せられた作品のなかから、中学生以下の「ジュニアの部」と高校生以上の「一般の部」で、それぞれに金賞1点・銀賞5点・銅賞10点を選出。そのほか、審査員が個別に選ぶ賞や、地元の協力企業・団

体などが選ぶ賞も設けている。入賞・入選作品を「鈴廣のかまぼこ博物館」の2階ギャラリーで展示した後、都内の百貨店で全応募作品による展示会を開催。短い期間ながら応募者の家族などで賑わう。

また、一般からの参加者を募るとともに、漫画家やイラストレーター、美術家など毎回20名程度の招待作家に、かまぼこ板を使った作品制作を依頼。手塚治虫や石ノ森章太郎といった漫画界の大御所から、赤瀬川原平や横尾忠則、村上隆といった現代美術作家も参加して、ファン垂涎の作品を提供している。

これまでの応募作品、招待作家の作品はすべて保管し、一部をホームページ上で公開するほか、「かまぼこ博物館」で順次作品を入れ替えながら展示。将来は「小さな美術館」を建設し、より多くの作品を展示したいと夢は膨らむ。



評価ポイント 手のひらサイズのかまぼこ板で、誰でも自由に創作できるという発想がユニーク。他メーカーのかまぼこ板も使用でき、楽しくリサイクルしようという視点もいい。

企業プロフィール(2004年3月現在)

本社所在地	神奈川県小田原市	資本金	2,000万円
業種	食料品	従業員数	400人
設立年	1865年	URL	www.kamaboko.com/art/

音楽人材育成賞



2003年8月、夏合宿での練習

住友商事株式会社

ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラの活動支援

ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラは、1972年、作曲家の故・塚原哲夫の「オーケストラを通して次代を担う若者の健全な成長に役立ちたい」との提唱により創設された。すでに300回を超える演奏会を実施してきた国内でも歴史あるユース・オーケストラのひとつである。

住友商事は「未来の芽を育てたい」との考えから、92年よりジュニア・フィルの支援を始め、以来一貫して、同楽団の運営事務局を経営的にサポートしてきた。さらに、より多くの演奏機会を提供すべく、主催コンサート「住友商事ヤング・シンフォニー」に取り組み、通算33回の公演をおこなっている。また2003年夏におこなわれたイギリス、チェコでの親善演奏旅行では、同社の海外駐在員も積極的に公演をサポートした。こうした物心両面にわたる支援は、いまではジュニア・フィルを支える大きな柱となっている。

現在、ジュニア・フィルは、10歳から大学4年生までの約120名の

団員で構成され、音大生も含め、さまざまなレベルの学生が協力して音楽づくりに励んでいる。過去23年間にわたり指導にあたってきた作曲家の故・山本直純の遺志を継ぎ、ヴァイオリニストの豊田耕児をはじめ第一線で活躍する音楽家が若き演奏家たちを教える。述べ1,000人近い卒団生のなかからは、チェリストの向山佳絵子ほか、数多くのプロの演奏家が誕生。その彼らもまた、トレーナーとして関わり、本物の音を追求する真摯な姿勢、リーダーシップなどを次世代に伝えながら楽団の歴史を築き上げている。

幅広い年齢層からなる楽団メンバーが、音楽を通じてチームワークや協調性を学び、人間的にも大きく成長する。音楽家のプロを育成するだけでなく、より良い市民を育むという意義に賛同し、住友商事では今後も歩みを共にしていく方針である。

「2003年国際音楽祭 ヤング・プラハ(チェコ)」にて



評価ポイント 人材育成という面から見ても意義深い活動への支援である。海外駐在員も含め、国内外における公演の支援体制が整っている。

企業プロフィール(2004年3月現在)

本社所在地	東京都中央区	資本金	1,694億円
業種	卸売業	従業員数	4,683人
設立年	1919年	URL	www.sumitomocorp.co.jp/society/index.shtml

映像開拓賞



日本ビクター株式会社

「東京ビデオフェスティバル」の継続開催

日本ビクターがVHSビデオの開発に成功した2年後の1978年、手軽な自主制作映像づくりの普及啓蒙を目指して始めたのが「東京ビデオフェスティバル」（以下、TVF）である。ビデオカメラによる映像の記録やメッセージの伝達、自由な映像表現の可能性を広げることを目的とした市民ビデオの国際的祭典で、以降、毎年開催している。

当初より、誰もが参加できる開かれたビデオ映像祭を標榜し、応募者の国籍や資格を一切問わず、唯一、20分以内という時間制限を設けて作品を募集。募集要項を11カ国語に翻訳し、海外は現地法人から呼びかけており、26回目となる2003年は過去最高の2,881本（国内938本、海外1,943本）の応募があった。

TVFのコンセプトは、市民の視点による自己表現と、作品を通じたコミュニケーションの拡大にある。技術の優劣や芸術性の高さではなく、個人の目線から時代の変化や社会の事象をどうとらえているか、その主張やメッセージの強さを重視しており、長年にわたり、映画作家

の大林宣彦、ビデオ作家の小林はくどうらが審査委員を務めている。応募作品のなかから入賞作品100本を選び、そこから優秀作品とビデオ大賞、日本ビクター大賞を決定。優秀作品は同社ホームページで公開し、視聴者のWeb投票による「ピープル賞」も設けている。

四半世紀にわたるTVFの歴史のなかでビデオ表現の幅は広がり、作品の傾向は時代を反映して変化を見せてきた。家族や友人との絆を深める作品をはじめ、社会問題を扱ったビデオジャーナリズムやメディアリテラシーの萌芽、身近な題材を取り上げた作品や自分史の制作、新たなコミュニティをつくり出す作品の数々。

TVFは世界に広がる市民ビデオの広場として、作品を通じた語り合える生活・社会の構築に確かな足跡を残してきたのである。



評価ポイント 表現媒体としてのビデオの可能性にいち早く着目し、ニューメディアを開拓した。映像ジャンルのフェスティバルとして規模が大きく、継続年数も長い。

企業プロフィール (2004年3月現在)

本社所在地 神奈川県横浜市
業種 電気機器
設立年 1927年

資本金 341億1,500万円
従業員数 8,032人
URL www.jvc-victor.co.jp/tvf/

児童文化賞



2003年「シンペリン」公演より ©石川 純

松下電器産業株式会社

「子供のためのシェイクスピアシリーズ」公演の支援

松下電器産業が90年より支援してきたシェイクスピア専門劇場「東京グローブ座」。そのプロデュース集団である「グローブ座カンパニー」が94年、子供向けのシェイクスピア劇を企画・上演したことをきっかけとして、翌年からスタートさせたのが同シリーズである。

シェイクスピア作品のおもしろさ、普遍性を子供たちにも伝えようと、原作を大胆に再構成、わかりやすくユーモアを交えた台詞で、馴染みの薄い演目にも積極的に取り組む。簡素な装置でスピード感ある展開の舞台は、子供だけでなく大人をも魅了し、リピーターも多い。夏休み恒例の企画として定着してきたものを、2000年からは東京以外の地域でも開催しようと、松下電器が「Panasonicツアー」を主催、松下グループ各社・事業場と協働して全国展開をはかっている。

2002年に東京グローブ座の経営が替わり、同シリーズの継続も危ぶまれたが、松下電器のサポートによって「子供のためのシェイクスピアカンパニー」として再結成。固定ファンにも支えられて、2003年

は東京を含む全国5カ所での公演を果たした。

「Panasonicツアー」はこれまで全国13カ所で開催され、公演数15回で約12,000人を動員した。開催各地の松下グループ各社・事業場では、チラシ作成やチケット販売、舞台設営、受付・会場案内にまで携わり、社員や学生ボランティアを投入することで、廉価なチケットを実現している。また、地元のNPO等との協働で、リハーサルや舞台裏の見学、小中学生を対象としたワークショップをおこない、観客の掘り起こしと育成にも努めている。

継続した経済的支援とグループ企業一体となつてのバックアップ体制が、カンパニーの安定した活動を可能にし、質の高いシェイクスピア作品を全国の子供たちに届ける一助となっている。

2003年公演舞台裏見学の様子



評価ポイント 作品制作に対する資金提供だけでなく、運営を支える人的な協力が大きい。各地のNPOとも協働し、次世代の鑑賞者を育む機会を設けている。

企業プロフィール (2004年3月現在)

本社所在地 大阪府門真市
業種 電気機器
設立年 1918年

資本金 2,587億円
従業員数 52,376人
URL www.panasonic.co.jp/ccd/

文化庁長官賞



株式会社フェリシモ

「神戸学校」の開催など

「神戸学校」は、フェリシモの社内勉強会を発展させて、1997年にスタートした月1回の公開講座である。阪神・淡路大震災を経た神戸市民の心の復興を図ろうとしたもので、2002年からは「生活デザイン学校」という新たなコンセプトのもと、神戸発の文化形成を目指して取り組んでいる。

これまでに、90人を超える多彩なゲストが登場。建築家や美術家、デザイナー、指揮者、演劇人といった芸術分野をはじめ、ジャーナリストやメイクアップアーティストなど魅力的な講師陣で、毎回300人ほどの聴衆に好評である。2003年度は、写真家の荒木経惟、明和電機の土佐信道、俳優の高見映らがパフォーマンスを取り入れつつ講演をおこなった。

参加料は、社員とその家族・同伴者は無料であり、一般は1,200円。全額が、阪神・淡路震災復興支援10年委員会を通じて震災遺児の育英基金「桃・柿育英会」に寄付され、これまでの総額は500万円を超

えた。なお同基金の終了に伴い、現在は震災遺児のケア施設「レインボーハウス神戸」に寄付している。

また同社では、社員の自己啓発を促すべく「長期特別休暇制度」を設けている。土曜日午後に開催される「神戸学校」に出席した同日に別途3.5時間の通常勤務をした場合は、その勤務時間を積み立てることができ、126時間（＝21日間分）になると1カ月間の休暇を取得できる。在籍社員のうち「神戸学校」の参加経験者が約9割、そのうち休暇制度を利用した社員は約80名になる。「神戸学校」が社員の自己実現の糧となり、長期休暇をより実り多いものとし、社内に新たな価値創造をもたらすことも多いという。

まもなく震災から10年の節目を迎える。これを機に過去の講演の集大成となる記録資料を編集する計画も検討されており、さらに今後の展開が注目されるところだ。

社員が運営スタッフとして参加



評価ポイント 神戸文化を自社の文化と捉え、地域に開かれた活動をおこなっている。社員の自己啓発を促す独自の仕組みを設けている。

企業プロフィール（2004年3月末現在）

本社所在地 兵庫県神戸市
業種 小売業
設立年 1965年

資本金 1億円
従業員数 1,050人
URL www.felissimo.co.jp/kobe/

メセナアワード2004 応募一覧

メセナ大賞部門

(株)アーバネットコーポレーション アート・ミーツ・アーキテクチャー コンペティション	東京
アイエヌジー生命保険(株) 第8回「愛と夢の童話コンテスト」	東京
(財)愛銀教育文化財団 教育文化活動に対する助成ならびに援助活動	愛知
(株)アカデミー 「リンカーン大賞」「ありがとうお母さん大賞」	栃木
アコム(株) バリアフリーコンサート「あみる」コンサート物語」	東京
(株)朝日新聞社 オーケストラ・リベラ・クラシカ(OLC)への支援	東京
アサヒビール(株) NPOとの協働による「アサヒ・アート・フェスティバル」	東京
(株)板室観光ホテル大黒屋 旅館施設内外の現代アート作品の展示、及び作品展の運営と「音を楽しむ会」の開催	栃木
(株)イトーヨーカ堂 イトーヨーカドー 子ども図書館/小さな童話大賞	東京
(株)伊予銀行 伊予銀行地域文化活動助成制度	愛媛
(財)ウッドワン美術館 ウッドワン美術館所蔵 近代日本の絵画名品展全国6会場巡回展の主催・開催	広島
AIG(株) 新日本フィル室内楽シリーズ～響きあう街と音楽～(全10回)	東京
エステル化学(株) エステル化学ドリームミュージカル「赤毛のアン」	東京
NECソフト(株) 「武生国際音楽祭」への協力・協賛と「武生国際作曲ワークショップ」への助成	東京
王子製紙(株) 王子ホール	東京
(株)大分銀行 ロビー展・ウェンズデイコンサートの開催	大分
(株)大垣共立銀行 守屋多々志美術館	岐阜
大阪商工会議所 「大阪ナイトカルチャー」事業	大阪
オムロン(株) オムロン文化フォーラム	京都
関西テレビ放送(株) ブロードバンド・アート & コンテンツアワード ジャパン(BACA-JA)	大阪
関西電力(株) 障害者アート公募展「かんでんコラボ・アート21」	大阪
地域の文化活動を支援する企業と個人の会 喜多方プラザ文化センター	福島
岐阜信用金庫 若手芸術家の支援	岐阜
(株)希望社 本社ギャラリーの展示・コンサートなど	岐阜

(株) 崎陽軒ほか 太倉山水囃子コンサート	神奈川
(株) けいはんな及び協賛企業・団体各社 けいはんなプラザ・プチコンサート	京都
(株) 神戸風月堂 風月堂ホール「ロドニー賞・神戸風月堂サロン講座・神戸風月堂ミュージックサロン・もとまち寄席慈雅亭」ほか	兵庫
コスモ石油(株) コスモ石油 Voice of the earth 2004	東京
コニカミノルタホールディングス(株) コニカミノルタプラザ(写真ギャラリー/企画展/公募制度)の運営	東京
佐川急便(株)・(財) 佐川美術館 佐川美術館の運営	京都
札幌駅南口開発(株) JRタワーアート計画	北海道
サッポロビール(株) 混声合唱団「ガーデンプレイスクワイヤ」への支援	東京
(株) ジェイティービー 杜の賑い	東京
(株) 商船三井 にっぽん丸ギャラリー	東京
湘南信用金庫 湘南長唄三味線 湘南DANコンサート ニューイヤーコンサート 映画鑑賞会	神奈川
常磐興産(株) 大江戸銭湯文化展	東京
昭和シェル石油(株) シェル美術賞	東京
真生印刷(株) 花と緑で世界を結ぶ 児童・生徒絵画コンクール	大阪
(財) 新日鐵文化財団 紀尾井ホールでの運営と公演活動など	東京
(株) 鈴廣蒲鉾本店 「小さな美術館 かまぼこ板絵国際コンクール」の実施	神奈川
(株) 昂 「昂 文化講演会」	鹿児島
(財) 住友財団 国内外の文化財維持・修復事業助成	東京
住友商事(株) ジュニア・フィルハーモニック・オーケストラの活動支援	東京
住友生命保険(相) こども絵画コンクール/全国縦断チャリティコンサート	東京
(株) 住友倉庫 海岸通ギャラリー・CASO	大阪
セイコーエプソン(株) 「美の巨人たち」番組提供、および関連展示会	長野
(株) セブン・イレブン・ジャパン セブン・イレブンファンタジースペシャル ブロードウェイミュージカル「ピーターパン」	東京
全国共済農業協同組合連合会 JA共済全国小・中学生書道・交通安全ポスターコンクール	東京
ソニーグループ 第7回国際オーボエコンクール・東京	東京

メセナアワード2004 応募一覧

第一生命保険(相) 第一生命ホールの支援	東京
(財)ダイキン工業現代美術振興財団 国立国際美術館の事業支援	大阪
大日本インキ化学工業(株) 川村記念美術館の運営	東京
ダイムラー クライスラー日本ホールディング(株)ノダイムラー・クライスラー・ファウンデーション・イン・ジャパン アート・スコープ「「アート・スコープ」の12年―アーティスト・イン・レジデンスを読み解く」展	東京
(株)大和証券グループ本社 ジョセッペ・ヴェルディ歌劇場「トリエステオペラ」初来日公演協賛	東京
高松建設(株) ランチタイムミニコンサート	大阪
タリーズコーヒージャパン(株) タリーズ・ピクチャーブックアワード	東京
(財)中信美術奨励基金 京都美術文化賞の贈呈	京都
TOA(株) トライヤムウィークコンサート「音の八宝菜」ノ符波の森国際音楽祭 シューベルティアーテたんば2003への音響協力ノ小中学生のための、世界の民族楽器紹介	兵庫
田苑酒造(株) 田苑酒蔵サロンコンサート	鹿児島
東京オビニオンズ 東京オビニオンズ及び東京オビニオンズフェスティバル	東京
東京ガス(株) 〜土と炎のワンダーランド〜「第37回小・中学生陶芸コンクール」	東京
(株)東京テレポートセンター テレコムセンターアトリウムコンサート	東京
東北電力(株) 東北電力「あなたの街の音楽会」	宮城
東レ(株) 東レデジタルクリエイションアワーズ	東京
(株)トナカイ 特定非営利活動法人NPOサロンオペラ・トナカイ	東京
トヨタ自動車(株) 全国アマチュアオーケストラに対する支援活動ノトヨタ・アートマネジメント講座ノトヨタ・子どもとアーティストの出会いノトヨタ創造空間プロジェクト	東京
(株)ナニワ商会 ART SPACE STUDIO EARKA(スタジオ・アーカ)の企画・運営	大阪
日産自動車(株) 日産NPOラーニング奨学金制度	東京
ニッセイ同和損害保険(株) 「ザ・フェニックスホール」の運営	東京
日本電気(株) NECアート教育プログラムノ全国各地でのコンサートの開催ノNEC Navigates Japan's Classical Music Artists	東京
日本ビクター(株) 「東京ビデオフェスティバル」の継続開催	神奈川
日本カイトフォトグラフィー協会 嵐による空撮:国際コンテストの主催活動	東京
日本出版販売(株) 書店店頭での読み聞かせ会「おはなしマラソン」の活動	東京
日本生命保険(相) 「ニッセイ名作劇場」を中心とした舞台公演の提供や舞台技術者の顕彰を通じた芸術文化支援	東京

日本たばこ(株) JTアートホールアフィニスの企画・運営	東京
ネットヨタ広島(株) 県内の若手美術家の支援	広島
(株)ノリタケカンパニーリミテド ノリタケの森	愛知
(株)パソナ アート村プロジェクト	東京
林原グループ・松下電器産業(株) 「観客」と「展示物」との新たなコミュニケーション手法の開発〜パナソニックデジタルネットワークミュージアム「林原自然科学博物館ダイナミックゾーン」における活動〜	岡山・大阪
平塚ステーションビル(株) ラスカ・チャリティコンサートNo.60〜No.64／湘南在住若手演奏家による「ラスカミニコンサート」	神奈川
広島信用金庫 日本画展の開催	広島
(株)フェリシモ フェリシモ ハッピートイズ プロジェクト	兵庫
(株)福井新聞社 交流ゾーン「風の森」から地域文化の発信	福井
富国生命保険(相) 「フコク生命チャリティコンサート」「フコク生命訪問ミニコンサート」	東京
(株)フジカワ画廊 美術館への出品協力、fujikawa gallery/next による作家支援	大阪
富士ゼロックス(株) 富士ゼロックスの版画コレクション活動と常設展示場「Art Space by Fuji Xerox」での自主企画展覧会の運営	東京
富士通テン(株) Kobe Music Station	兵庫
(株)ベネッセコーポレーション 直島における「家プロジェクト」の企画、実施	岡山
北海道放送(株) HBCジュニアオーケストラとHBC少年少女合唱団の活動と継続	北海道
ボラスグループ 南越谷阿波踊り	埼玉
(株)マザーズ コンサート・イベント等の開催の支援	東京
(株)柊一市村酒造場 小布施セッション[Obusession]	長野
松下電器産業(株) OBP(大阪ビジネスパーク)アーツプロジェクト／「子供のためのシェイクスピアシリーズ」公演の支援	大阪
松田油絵具(株) 中経展-think ahead- 東京芸術大学の卒業生、在学生による平面作品展	東京
三島食品(株) 三島食品資料館「橘苑」	広島
三井住友海上火災保険(株) しらかわホールの運営と活動	東京
(株)三越 日本橋三越本店を中心にした芸術・文化事業の展開	東京
三菱地所(株) 三菱地所のSHALL WEコンサート	東京
(財)三菱信託芸術文化財団 公演助成	東京

メセナアワード2004 応募一覧

(株) 源 吉兆庵 文化人生誕記念企画の活動	岡山
近畿労働金庫 ろうきんグッドマネープロジェクト エイブル・アート近畿2004 ひと・アート・まち兵庫	大阪
(株) メニコン メニコンスーパーコンサート/メニコ	愛知
(株) メルシャン軽井沢美術館 「浅間縄文ミュージアム」設立支援とその後のコラボレーション	東京
モルガン・スタンレー・グループ 「ボテロ野外彫刻展」の企画・開催	東京
山口メセナ倶楽部 地域の文化・芸術活動団体への助成支援	山口
ヤマト運輸(株) 「おしゃべり好きなコンサート」音楽宅急便	東京
(特) 山梨メセナ協会 芸術文化活動支援事業	山梨
文化庁長官賞部門	
アコム(株) バリアフリーコンサート「*みる*コンサート物語」	東京
アサヒビール(株) 社員と芸術文化の出会いの場を創造	東京
(株) 板室観光ホテル大黒屋 旅館施設内外の現代アート作品の展示、及び作品展の運営と「音を楽しむ会」の開催	栃木
(株) 伊予銀行 伊予銀行地域文化活動助成制度	愛媛
エステー化学(株) エステー化学ドリームミュージカル「赤毛のアン」	東京
大阪商工会議所 「大阪ナイトカルチャー」事業	大阪
(株) 梶本音楽事務所 楽しいオーケストラ	東京
関西電力(株) 従業員音楽活動	大阪
(株) 希望社 ギャラリーイベント	岐阜
(株) けいはんな及び協賛企業・団体各社 けいはんなプラザ・ブチコンサート	京都
コスモ石油(株) コスモ子ども地球塾「子どものための自然アートワークショップ」	東京
サッポロビール(株) 混声合唱団「ガーデンブレイスクワイヤ」への支援	東京
(株) 資生堂 イントラネットを使っの「チケットプレゼント」/HOUSE OF SHISEIDO	東京
住友商事(株) 小学生から大学生で構成されるジュニア・フィルハーモニック・オーケストラの活動支援	東京
住友生命保険(相) ランチタイムコンサート「音楽のデザート」	東京
(株) 住友倉庫 海岸通ギャラリー・CASO	大阪

ソニー(株) ソニー吹奏楽団	東京
(株)損害保険ジャパン 社員・OB・障害者・小中学生に美術に親しんでもらうための活動～損保ジャパン東郷青児美術館を基盤として～	東京
第一生命保険(相) 第一生命ホルルの支援	東京
ダイキン工業(株) ダイキン工業淀川製作所 納涼祭(盆踊り大会)	大阪
高松建設(株) ランチタイムミニコンサート	大阪
(財)中信美術奨励基金 中信御池ギャラリーの活動	京都
TOA(株) 自主イベントへの社員優待制度、外部イベント招待券の無料配布	兵庫
東京オペニオンズ 「東京オペニオンズフェスティバル」演目での劇場ボランティア	東京
(株)東芝 東芝フィルハーモニー管弦楽団	東京
トヨタ自動車(株) 会社施設を活用した地域コンサート(トヨタ会館コンサート/トヨタロビーコンサート)	東京
日産自動車(株) 日産おはなしの部屋/ニッサンゆかいな絵本と童話展	東京
日本電気(株) 社員参加型のメセナ活動/「NECコンサートクラブ」/NEC玉川吹奏楽団	東京
日本ユニシス(株) ヴァイオリニストリサイタルでの視覚障害者サポートのボランティア活動	東京
パイオニア(株) 身体で聴こう音楽会	東京
(株)フェリシモ 「神戸学校」の開催など	兵庫
(株)福井新聞社 総合情報文化センターとして読者を中心に地域の人々との交流を広げ、新しい文化の醸成と発信を目指す	福井
富士ゼロックス ABXファンクラブ	東京
富士通テン(株) Heartful Concert(ハートフルコンサート)	兵庫
(株)ホテルグランヴィア大阪 文楽鑑賞	大阪
ボラスグループ 南越谷阿波踊り	埼玉
(株)樹一市村酒造場 小布施ツシヨン[Obusession]	長野
松下電器産業(株) Panasonicカルチャートーク/子供のためのシェイクスピア「シンペリン」Panasonicツアー	大阪
松田油絵具(株) 中経展「think ahead」東京芸術大学の卒業生、在学生による平面作品展	東京
(株)三越 「日本伝統工芸展」の50年記念展「わざの美」展の開催、第50回「日本伝統工芸展」の開催会場の提供及び運営	東京
(株)みどり会 グリーンコンサート 定期演奏会	大阪

これまでの受賞企業

2003

メセナ大賞	(財)常陽藝文センター	郷土の芸術・文化の発掘と普及——20年目の挑戦
地域文化賞	(株)松明堂書店	松明堂ギャラリー・音楽ホールへの活動
舞台芸術牽引賞	(財)セゾン文化財団	現代演劇・舞踊への助成
芸術環境創出賞	(財)ボーラ美術振興財団	美術分野における助成事業と美術館事業の展開
新領域開拓賞	トヨタ自動車(株)	「トヨタコレオグラフィーアワード」の実施
新世代支援賞	ホルベイン工業(株)	第17回「ホルベイン・スカラシップ」の実施
児童文化貢献賞	(株)ジャパンエナジー	「JOMO童話賞」の実施
継続の力賞	出光興産(株)	「題名のない音楽会」の継続提供
文化庁長官賞	(財)常陽藝文センター	「藝文友の会」を通じた常陽銀行の社員、家族に対する文化芸術に親しむ機会の提供

2002

メセナ大賞	朝日放送(株)	ザ・シンフォニーホールの運営と事業活動
企業文化賞	鹿島建設(株)	「KAJIMA彫刻コンクール」の実施
企画賞	キリンビール(株)	「キリンダンスサポート」創設に結びついた体系的な現代舞踊支援
情報発信賞	東陶機器(株) [TOTO]	ギャラリー・間の活動
奨励賞	凸版印刷(株)	コンサートホール「トッパンホール」の運営
地域文化賞	(株)飛騨庭石	祭屋台の制作および「飛騨高山まつりの森」の運営
育成賞	(株)リクルート	クリエイションギャラリーG8とガーディアン・ガーデンの運営

2001

メセナ大賞	安田火災海上保険(株)	安田火災人形劇場「ひまわりホール」の活動
国際交流賞	(財)アサヒビール芸術文化財団	芸術系外国人留学生への支援・交流活動
企業文化賞	(株)INAX	「世界のタイル博物館」等の運営ならびに陶芸作家への支援
人材育成賞	花王(株)	美術館連絡協議会への支援
アイデア賞	カスミグループ	「くわたしの企画」応援します!」の実施
地域文化賞	(株)駒形どぜう	「江戸文化道場」等の開催
バリアフリー賞	トヨタ自動車(株)	「トヨタ・エイブルアート・フォーラム」の実施
まちづくり賞	(社)浜松青年会議所	浜松交響楽団の設立と運営

2000

メセナ大賞	第一生命保険(相)	VOCA展の開催
育成賞	(財)アフィニス文化財団	日本のプロオーケストラへの支援活動
新人育成賞	沖縄電力(株)	おきでんシュガーホール新人演奏会オーディションの実施
創造賞	キヤノン(株)	キヤノン写真新世紀の実施
地域賞	(株)神戸酒心館	神戸酒心館ホールの運営
組織支援賞	三洋電機(株)	大阪シンフォニーカーへの支援活動
企業理念賞	日産自動車(株)	“子どもの想像力育成”に投資するメセナ活動
振興賞	日本電気(株)	NEC EARLY MUSIC SERIESの実施

1999

メセナ大賞	(株)東急文化村	複合文化施設Bunkamuraの運営
メセナ育成賞	野村證券(株)、松下電器産業(株) 日本航空(株)、トヨタ自動車(株)	パシフィック・ミュージック・フェスティバル(PMF)への協賛
メセナ企画賞	フィリップ モリス(株)	フィリップ モリス アート アワードの実施
メセナ国際賞	安田火災海上保険(株)	ゴッホ美術館新館の建築支援
メセナ奨励賞	今井書店グループ	読書と出版文化発展のための支援活動
メセナ地域賞	住友生命保険(相)	いずみホールへの運営
メセナ普及賞	カルビー(株) ほか後援会加盟社	能楽研究・公演団体「橋の会」の支援

1998

メセナ大賞	朝倉不動産(株)	代官山ヒルサイドテラスにおける文化活動
メセナ育成賞	大川創業(株)	関西フィルハーモニー管弦楽団への支援活動
メセナ企画賞	九州電力(株)	若手芸家等の国内外派遣制度
メセナ国際賞	(株)ベネッセコーポレーション	直島文化村ベネッセハウスの運営
メセナ奨励賞	(株)両国シティコア	シアターXの運営
メセナ地域賞	(財)たましん地域文化財団	多摩地域における文化活動
メセナ普及賞	麒麟ビール(株)	麒麟プラザ大阪の運営

1997

メセナ大賞	主婦の友グループ	カザルスホールの運営
メセナ育成賞	東京ガス都市開発(株)	パークタワー・アートプログラム ダンスシリーズの実施
メセナ企画賞	松下電器産業(株)	阪神アートプロジェクトへの支援
メセナ国際賞	在日ダイムラー・ベンツグループ	ダイムラー・ベンツグループ アートスコープ ガス・ニュー・ジャパン・アーツ・スカラシップの実施
メセナ奨励賞	(株)ローザ	斎藤記念川口現代美術館の運営
メセナ地域賞	(株)みちのく銀行	ドキュメンタリー映画「サワダ SAWADA」の制作
メセナ普及賞	六花亭製菓(株)	十勝に根ざした芸術文化活動

1996

メセナ大賞	アサヒビール(株)	ロビーコンサートを中心とする社会に開かれた未来文化創造型メセナ活動
審査委員特別賞	キヤノン(株)	「アートラボ」の企画・運営
メセナ育成賞	(株)毎日新聞社	「第6回日本音楽コンクール」(主催 毎日新聞社・日本放送協会)の開催と長年にわたる同コンクールの運営
メセナ企画賞	(株)ヨークベニマル	絶版になった地域歴史書の復刻・発刊事業
メセナ国際賞	凸版印刷(株)	「欧米のポスター100」復刻事業
メセナ奨励賞	(株)海文堂書店	「アート・エイド・神戸(阪神大震災文化復興)」の実施
メセナ地域賞	(財)八十二文化財団	心の豊かさを求めて～八十二文化財団10年のあゆみ～
メセナ普及賞	大日本印刷(株)	「ギンザ・グラフィック・ギャラリー」10周年企画の実施

これまでの受賞企業

1995

メセナ大賞	TOA (株)	ジーベックホールを中心として行っている音文化啓蒙活動
審査委員特別賞	(財) 京都服飾文化研究財団	「モードのジャポニズム～キモノから生まれたゆとり的美～」展の開催など
メセナ育成賞	(株) パルコ	「URBANART (アーバナート)」の開催
メセナ企画賞	三菱広報委員会	国際文字年記念・三菱IMPRESSION-GALLERY～アジア子供アートフェスティバル～の実施
メセナ国際賞	(財) 大同生命国際文化基金	「アジアの現代文芸」プログラムの翻訳出版
メセナ奨励賞	広島信用金庫	「ひろしま平和能楽祭」「青少年のための能楽鑑賞教室」の開催
メセナ地域賞	稚内信用金庫	稚内市での札幌交響楽団定期公演の全面的支援など
メセナ普及賞	(財) 三井海上文化財団	地域住民のためのコンサートの共同主催

1994

メセナ大賞	サントリー (株)	サントリーホールの運営と活動
審査委員特別賞	(株) タダノ	イースター島モアイ像修復活動
メセナ育成賞	(株) 東急文化村	シアターコクーン戯曲賞の運営
メセナ企画賞	三和酒類 (株)	美術・文学・建築等を含む文化学研究・出版活動
メセナ国際賞	(財) 日航財団	世界こどもハイク (俳句) コンテストの運営
メセナ奨励賞	(株) あさば旅館涵翠閣	「修善寺芸術紀行」の実施
メセナ地域賞	カトーレック (株)	四国民家博物館の運営
メセナ普及賞	(財) 日本生命財団	「博物館総合案内」書の出版

1993

メセナ大賞	セゾングループ	セゾン美術館の運営
メセナ特別賞	(財) トヨタ財団	「隣人をよく知ろう」プログラムの実施
	フィリップ モリス (株)	日本美術修復計画への支援
	(株) 南日本放送	MBCユースオーケストラの運営
メセナ賞	大阪ガスグループ	扇町ミュージアムスクエアの運営
	(財) 東芝国際交流財団	国内外の美術館、博物館などへの助成
	日本生命保険相互会社	30年にわたるニッセイ名作劇場の協賛と日生劇場の運営
	松下電器産業 (株)	グローブ座への支援
	(財) ロームミュージックファンデーション	音楽文化振興活動

1992

メセナ大賞	(株) すかいらーく	(財) 東京交響楽団の演奏活動支援
メセナ特別賞	(財) 末永文化振興財団	末永文化センターの運営
	びあ (株)	PFF'91 (びあフィルムフェスティバル) の開催
	(財) ポーラ伝統文化振興財団	わが国の伝統文化の保存、伝承、普及、振興に関するメセナ活動
メセナ賞	(株) 紀伊國屋書店	紀伊國屋ホールの運営
	シヤチハタグループ	ジャパン・アート・スカラシップの協賛
	セゾングループ	MUSIC TODAY '91の開催
	日本アイ・ピー・エム (株)	IBMウェルフェア・コンサートの開催
	(株) 紅三	ベニサン・スタジオ、ベニサン・ピットの運営

1991

メセナ大賞	林原グループ	国際芸術・文化振興奨学金制度の創設ほか
メセナ特別賞	(株)INAX コニカ(株) 新日本製鐵(株)	建築、現代美術等の展覧会開催、出版ほか 大英博物館日本ギャラリーの設立資金援助ほか 35年にわたる新日鉄コンサートの開催、音楽賞の創設
メセナ賞	岩谷産業(株) オムロン(株) セイコーエプソン(株) トヨタ自動車(株) モービル石油(株)	ふるさと交響楽シリーズなどのN響への協賛 クレアティヴィタリアの特別協賛ほか サイトウ・キネン・オーケストラの欧州公演協賛 アマチュアオーケストラの支援活動 モービル・ライブ・サウンズの提供

(社)企業メセナ協議会会員

正会員

- アール・ビー・エス証券会社 東京支店
[株] I&S/BDDO
あいおい損害保険[株]
[株] 秋村組
朝倉不動産[株]
[株] アサツー ディ・ケイ
[株] 朝日広告社
[株] 朝日新聞社
アサヒビール[株]
朝日放送[株]
[株] アシェット婦人画報社
味の素[株]
アプライドテクノロジー[株]
一帆会・昭和電工グループ
[株] イトーヨーカ堂
[株] INAX
エクソンモービル[有]
[株] エフエム東京
エルメス・ジャポン[株]
王子製紙[株]
大阪ガス[株]
オムロン[株]
[株] オンワード樫山
花王[株]
鹿島建設[株]
[株] カスミ
カトーレック[株]
関西電力[株]
キッコーマン[株]
キヤノン[株]
九州電力[株]
[株] 求龍堂
京セラ[株]
麒麟ビール[株]
[株] クレディセゾン
[株] 講談社
[株] 光文社
コスモ石油[株]
[株] 産業経済新聞社
サントリー[株]
三洋電機[株]
三和酒類[株]
ジー・アイアール・コーポレーション[株]
[株] ジェイティービー
[株] 資生堂
清水建設[株]
[株] 集英社
[株] 主婦と生活社
[株] 主婦の友社
[株] 小学館
松竹[株]
[株] 新潮社
新日本製鐵[株]
[株] 水曜社
住友生命保険[相]
セイコーエプソン[株]
[株] 西友
[株] 世界文化社
積水化学工業[株]
[株] セゾン情報システムズ
全国朝日放送[株]
セントラル警備保障[株]
ソニー[株]
[株] 損害保険ジャパン
第一生命保険[相]
[株] 大広
大正製薬[株]
大同生命保険[株]
大日本印刷[株]
ダイマラー・クライスラー日本ホールディング[株]
[株] ダイヤモンド社
大陽日酸[株]
大和証券SMBC[株]
武田薬品工業[株]
[株] 竹中工務店
中部ガス[株]
TOA[株]
TBS[株] 東京放送
[株] テレビ東京
[株] 電通
東急建設[株]
東京ガス[株]
東京急行電鉄[株]
東京テアトル[株]
東京電力[株]
[株] 東京ドーム
[株] 東京三菱銀行
[株] 十勝毎日新聞社
凸版印刷[株]
トヨタ自動車[株]
西日本旅客鉄道[株]
[株] ニチレイ
日産自動車[株]
ニッセイ同和損害保険[株]
[株] 日本製紙グループ本社
日本信販[株]
日本電気[株]
[株] ニッポン放送

日本アイ・ビー・エム〔株〕
 〔株〕日本経済新聞社
 日本生命保険〔相〕
 日本たばこ産業〔株〕
 野村證券〔株〕
 バイオニア〔株〕
 〔株〕博報堂
 〔株〕パシフィックツアースステムズ
 〔社〕林原共済会
 〔株〕バルコ
 びあ〔株〕
 東日本電信電話〔株〕
 久光製薬〔株〕
 〔株〕日立製作所
 フィリップ モリス〔株〕
 富士ゼロックス〔株〕
 〔株〕フジタ
 富士通〔株〕
 〔株〕フジテレビジョン
 〔株〕文藝春秋
 本田技研工業〔株〕
 〔株〕毎日新聞社
 〔株〕マガジンハウス
 松下電器産業〔株〕
 みずほインベスターズ証券〔株〕
 〔株〕みずほフィナンシャルグループ
 三井住友海上火災保険〔株〕
 〔株〕三井住友銀行
 三井物産〔株〕
 三井不動産〔株〕
 〔株〕三越
 三菱地所〔株〕
 三菱重工業〔株〕
 三菱商事〔株〕
 〔株〕みどり会
 明治安田生命保険〔相〕
 メルシャン〔株〕
 〔株〕山武
 ヤマト運輸〔株〕
 ヤマハ〔株〕
 〔株〕吉野工業所
 〔株〕読売広告社
 読売新聞社
 〔株〕リクルート
 リシュモン ジャパン〔株〕
 LVIグループ〔株〕 ルイ・ヴィトン・ジャパンカンパニー
 ローム〔株〕
 〔株〕ワコール

準会員

アートアソシエイツ ジャパン〔有〕
 〔特〕アートネットワーク・ジャパン
 EU・ジャパン フェスト日本委員会
 石川県音楽文化協会
 茨城県
 エムアンドアイアートシステム〔株〕
 〔財〕大阪21世紀協会
 〔有〕オリジナルアートギャラリー
 オルフェウス室内管弦楽団
 神奈川県
 〔社〕企業メセナ群馬
 京都商工会議所
 京都橘女子大学文化政策研究センター
 〔財〕京都服飾文化研究財団
 慶應義塾大学アート・センター
 〔株〕劇団影法師
 劇団四季
 〔財〕公益法人協会
 〔財〕埼玉県芸術文化振興財団
 佐賀県企業メセナ協議会
 〔株〕シアターワークショップ
 〔有〕ジャパン・アーツ・リンク
 昭和音楽大学
 〔財〕新国立劇場運営財団
 〔財〕セゾン文化財団
 〔財〕たましん地域文化財団
 中央区文化・国際交流振興協会
 〔株〕東京国際フォーラム
 東京都生活文化局文化振興部
 〔財〕東京都歴史文化財団
 〔株〕トナカイ
 中札内美術村
 〔株〕ニッセイ基礎研究所
 〔社〕日本演奏連盟
 〔社〕日本芸能実演家団体協議会
 〔財〕日本文通文化協会
 〔財〕八十二文化財団
 〔株〕フジカルチャー・プランニング
 藤沢市
 〔財〕水戸市芸術振興財団
 山口市

(2004年10月1日現在 | 50音順)

(社)企業メセナ協議会の活動紹介

社団法人企業メセナ協議会は、企業による芸術文化支援活動を啓発・奨励し、わが国の芸術文化の向上・発展に寄与することを目的として、1990年に設立されました。企業のメセナ活動が推進される環境を整備すべく、さまざまな活動をおこなっています。

- ❖ **メセナ活動実態調査** ———— **【わが国の企業メセナ活動の実態を調査】**
企業および企業財団を対象とする調査を毎年実施。その結果をオンラインデータベース「メセナビ」としてホームページ上で公開するほか、「メセナレポート」を『メセナnote別冊』として発行します。
- ❖ **メセナ アワード** ———— **【優れたメセナ活動を顕彰】**
「メセナ大賞部門」「文化庁長官賞部門」において、全国から自薦・他薦で案件を公募し、特に優れたメセナ活動を選んでその功績を称えて表彰します。
- ❖ **セミナー、シンポジウム** ———— **【幅広い観点から諸問題を分析】**
メセナや芸術文化を取り巻く諸問題をテーマに取り上げ、セミナーやシンポジウムを随時開催しています。
- ❖ **機関誌** ———— **【メセナや芸術文化活動の最新情報を掲載】**
企業メセナや文化行政、アートマネジメントなど幅広い情報を盛り込んだニュースレター『メセナnote』を隔月で発行しています。
- ❖ **助成認定** ———— **【芸術文化活動への支援を税制面から促進】**
当協議会は、文化庁より特定公益増進法人の認可を受けて、芸術文化活動への民間寄付を促進する制度を設けています。企業や個人が協議会経由で寄付をすれば、税制上の優遇措置を受けられます。
- ❖ **メセナ・コーディネート** ———— **【さまざまなプログラムをコーディネート】**
メセナや芸術文化創造のインフラ整備に関する各種プログラムへの企画協力や、講師の派遣などをおこなっています。
- ❖ **国際交流** ———— **【世界のメセナ組織と交流】**
世界各国の企業メセナ組織との交流に努め、情報交換や国際会議への参加、海外視察団の派遣などをおこなっています。
- ❖ **情報ライブラリー** ———— **【メセナに関する資料を公開】**
企業メセナに関する書籍や資料を自由にご覧いただけるよう、ライブラリーを設けています（要予約）。

詳しくは協議会のホームページをご覧ください。

www.mecenat.or.jp



「メセナ アワード2005」の募集要項は、
2005年4月頃に発行する予定です。
詳細は企業メセナ協議会事務局まで
お問い合わせください。

メセナ アワード2004の運営ならびに
応募案件の調査・取材は、
企業メセナ協議会・大賞部会メンバーがおこないました。

大賞部会

部会長	加藤恒夫 [大日本印刷(株)]
メンバー	高辻ひろみ [(株) 資生堂]
	市川哲夫 [第一生命保険(相)]
	小林義信 [トヨタ自動車(株)]
	柄田明美 [(株) ニッセイ基礎研究所]
	朝子正三 [(株) ワコール]

事務局	出口正之 (専務理事)
	角山紘一 (事務局長)
	荻原康子
	戸沢 愛

後援 文化庁

2004年12月2日 発行・社団法人 企業メセナ協議会



社団法人 企業メセナ協議会

100-0006 東京都千代田区有楽町2-5-1

有楽町マリオン13階

Tel : 03-3213-3397

Fax : 03-3215-6222

E-mail : mecenat@mecenat.or.jp

関西事務所

540-0032 大阪府中央区天満橋京町1-1

大阪キャッスルホテル4階

財団法人 大阪21世紀協会内

Tel & Fax : 06-6942-2040

www.mecenat.or.jp